

フラっと

中央市民センターだより

発行 青森市中央市民センター
〒030-0813 青森市松原 1-6-15
TEL 017-734-0163
FAX 017-775-7048

講座レポート1

青森の近代史 ～青森歩兵第五連隊雪中行軍遭難事件～ 8/19

史実に基づいた視点から

青森歩兵第五連隊の八甲田山中での遭難事件は、小説や映画「八甲田山」でご存じの方も多いと思いますが、史実と異なる点もあるということです。雪中行軍に関する資料を様々調べている青森市八甲田山雪中行軍遭難資料館でボランティアガイドを務める加藤幹春さんを講師に高校生から70歳代の男女31名が参加して講座が開催されました。

山田少佐・神田大尉は、実名ではない

「八甲田山死の彷徨」の作者 新田次郎氏は、小説としては実名では扱いにくい点が多く、遺族のことを考えて実名にできなかったとしています。山口少佐を山田少佐、神成大尉を神田大尉としたということです。

【謎1】雪中行軍隊の指揮官は 一体誰なのか

小説・映画では、大隊長の編成外参加が指揮権の乱れになったとしています。歩兵第五連隊第二大隊雪中行軍の訓練の際の組織編成について図解で詳しく解説し、大隊長の山口少佐は神成大尉に行軍指揮は命じたが、行軍隊の指揮・権限を委譲していないとし、行軍指揮官は山口少佐であるとお話されました。

雪中行軍遭難事件を様々な資料を基に新たな視点で解説して下さった、加藤さんのお話に参加者は興味深く耳を傾けていました。

【謎2】山口少佐の死

拳銃自殺か・病死か・薬殺か

新田次郎氏は、山口少佐の死を劇的なシーンでということで、映画「八甲山」では、少佐が責任をとる形で拳銃自殺となっています。また陸軍医学会誌には、心臓麻痺による突然死と有り病死説をとっています。山口少佐の担当主治医の記録によれば、顔色、呼吸、精神が正常な山口少佐に突然チアノーゼが見られ呼吸困難となり30分で死亡。処置されたクロロホルムによって弱っていた心臓が耐えきれずに突然麻痺したものでしょうとしています。クロロホルムの処置が山口少佐の死亡に関連した可能性があるとしています。



メモを取りながら講師の解説に耳を傾ける参加者

講座担当者のコーナー

こんな講座を開催しました！！



筋膜をほぐして腰痛・肩こり・身体の不調を整えよう！

ハレノヒ BODY の戸塚 友美さんを講師に迎えて開催しました。

参加者はボールを使って、不調を感じている部分を気持ちよさそうにほぐしていました。

高温多湿な夏は、ご用心!!

夏は細菌性食中毒が起りやすい季節です。特に、例年以上の猛暑が続いています。細菌の増殖には、栄養源、水分、温度などが必要です。そのため、細菌は、高温多湿な夏が大好きなのです。食中毒予防をテーマに、中央短期大学食物栄養学科 教授の清澤朋子さんを講師に、50 歳代から 70 歳代の男女 16 名が参加して講座が開催されました。

細菌性食中毒予防の 3 つの原則

食中毒予防には 3 つの原則があります。

- ①細菌を食べ物につけない（清潔・洗浄）
- ②食べ物に付着した細菌を増やさない（迅速・冷却）
- ③食べ物や器具に付着した細菌をやっつける（加熱・殺菌）

細菌性食中毒の主な原因は「二次汚染」

加熱料理では肉や魚の菌は死んでしましますが、手や指、調理器具についた菌が、加熱しないで食べる食品につくと二次汚染になります。対策として、手や調理器具の洗浄と消毒が大切です。

参加者からは、「とても分かりやすく参考になった」「今の時期に良いテーマで勉強になった」等の感想が聞かれ、参加者の学習意欲を満足させる内容の講座となりました。

新鮮だから大丈夫！は間違いです

食中毒菌は目に見えないので、汚染に気づきません。生の肉をつかむ箸と、加熱後の食品をつかむ箸を必ず使い分けるとか、菌が付着した調理器具や手を洗ったとき、水に混ざって周囲に飛び散った程度の少量の菌からでも感染する恐れがあります。

6 つのチェックポイント

①食品を買う時 ②家庭での保存 ③下準備 ④調理の時 ⑤食事の時 ⑥残った食品について、気をつけるポイントの丁寧な説明がありました。



熱心に話を聞く参加者

**お勧め講座・イベントのご案内！（11～12月）****健康食品と医薬品の違い**

～健康食品（機能性表示食品）で、
本当に効くの？～

開催日：11月21日（木）

対象：18歳以上

講師：青森大学 薬学部 教授 清水 保明

定員：30人

参加費：無料

準備物：筆記用具

**初めてでも大丈夫！バレエストレッチとエクササイズで姿勢を整えよう！**

開催日：12月8日（日）

対象：高校生以上

講師：万里バレエ・ミュージカル
ダンススタジオ 種市 万里子

定員：20人

参加費：無料

準備物：運動しやすい服装、汗拭きタオル、
ヨガマット（バスタオル）、内履き、
水分補給用飲料

**編集後記**

市民センターでの講座やサークル活動が、盛んに開催され、コロナ禍以前と変わらない様子です。市民の皆様の明るく元気に楽しんで、学習活動に取り組む姿が市民センターに戻ってきました。今後も市民の皆様の学習活動を支援し、より有意義な学習情報の発信に努めてまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F

青森市生涯学習推進員室

TEL 017-734-0164（内線 36）

中央市民センター担当：須藤、横内